

災害復興 支援事業

甚大な被害をもたらした東日本大震災の復興支援をはじめ、大規模な地震や火災、台風など自然災害の被災地を復旧・復元するための活動を行っています。

義援金募金活動

大規模な地震や火災、台風などの深刻な被害が予想される広域災害発生の際は、セブン-イレブン店頭で設置されている募金箱のステッカーを貼り替え、義援金募金活動を行っています。皆様からのご厚意は、心を入れて被災地へお届けしています。



福岡県副知事に義援金をお届けしました



災害地復旧のための募金活動

災害発生日・災害名	店頭募金額	募金期間	実施店	お届け先
2012年(平成24年)7月 『九州豪雨災害』	870万7197円	2012年(平成24年) 7月14日～7月31日	九州地区	福岡県、熊本県、大分県

1994年からこれまでの義援活動の総額 35億7100万5207円(義援金35億6390万5207円と見舞金・物品710万円を含む)

東日本大震災復興支援

東日本大震災復興プロジェクト

東日本大震災被災地復興支援として、9月22日に71名が気仙沼市唐桑町で漁業復興支援活動として養殖作業を、翌23日は195名で豊かな海をつくるための豊かな森づくり「宮城セブン-イレブンの森」の活動として、約1haに苗木1,500本の植樹と竹林の伐採・整備を行いました。



「宮城セブン-イレブンの森」の植樹活動



牡蠣の養殖の原盤づくり

東北に緑を!セブン-イレブンプロジェクト

被災地の子どもたちに元気になってもらうことを目的に、2012年3月から宮城県と福島県の教育庁の協力を得て、希望された小学校119校の植樹や植花活動を支援しました。



花壇づくり

自然災害復興活動

三宅島緑化プロジェクト

2000年(平成12年)の雄山の大噴火により被災した三宅島(東京都)の植樹再生と島の復興を目的として活動しています。

都内の高校や大学と連携して植樹活動を行っているNPO法人 園芸アグリセンターの「三宅島緑化プロジェクト」を継続して支援しました。記念財団としては、5月12日に102名で約2haに3,000本の植樹を行いました。

2008年からの累計では、参加者656名、面積約9.2ha、植樹本数21,000本になりました。



植樹方法の説明を聞く参加者

支笏湖周辺台風災害・復興の森づくり

北海道森林管理局と包括協定を結び、「NPO法人 支笏湖復興の森づくりの会」の春植樹や下刈り、秋の同窓会などの活動を支援しています。

2006年に開始した、市民の手で100haに10万本の植樹を行う森づくりは、苗木が大きく成長しています。

「支笏湖セブン-イレブンの森」は、5月5日に53名が1haに700本のカラマツを植樹し、7月7日に74名が下刈りを行いました。



2012年5月 雨の中で植樹